

A. 0005

あります。確認ですが、おっばいだけに保険を掛けるのですよね。どんなモノにも申し出があれば、保険を引き受けるという集団が世界にはあります。ほんとかどうかは確証はありませんが、タレントさんの瞳（！）に保険をかけるとか、女優さんの足（！）に保険がかかっているということを聞いたことがあります。

まあ、宣伝の一種でしょうが、ハンドメイド、フルオーダー、唯一無二の保険をつくる集団があります。どのくらいの保険料が請求されるのかを別問題としても、よく考えてくださいね。保険にはたいてい引き受けの条件というのが付きます。大衆化された保険はその条件がゆるいのが一般的です。あなたのおっばいの場合はどうなるでしょう？

多分、保険期間は終身＝死ぬまで、はもとより、10年とか30年とかのスパンでは、保険は受けないでしょうね。1年とかの短期であなたの欲望は満たされますか？

それでも、睡眠時間をはじめ、食事や着用ブラまで指定されるはずですよ。かなり窮屈な生活を強いられますよ。それよりなにより、保険を引き受ける者たちの目に、そのモノをさらさなければ、引受の検討すら始まりません。いいのですか？

保険というのはカネと確率のものさしにモノゴトを還元して考え（考量し）て成り立っています。むろん、そんなことをすべきなモノゴトは、私たちの生の、ごくごくわずかな部分であることをあなたには学んでいただきたいと思います。